

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	ブルーベリーの丘 子どもと親が集い防災を考える会
現在の主な活動 内容・活動実績	子育てサロンびよびよキッズ部屋遊び(月2回)・とことこ外遊び(年9回)。 ふれあいサロンや食事会(月2回)。おもちゃ病院(年6回)。登下校の見守り 拠点(開校時)。自主防災や拠点連携避難訓練拠点(年3回)と防災フェア啓発 活動(年1回)。協力団体・行事・サークル活動。高学年向け防災教育。低学 年“町探検に行こう”自治会の役割説明(会館利用率65%：休館日除く)。
提案場所	金沢区 高舟台一丁目
提案名 (25字以内)	知ることによって安心 子どもの遊び場と防災
提案する施設 (どのような施設の 提案ですか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの遊び場に隣接する斜面(法面)に”つづら折り遊歩道”を整備する。</li> <li>高精度の傾斜センサーと震動センサーを法面等に設置、バス停から見える場 所に簡易モニターを設置、遊歩道に看板を設置する。(参照：その他資料)</li> <li>災害時にも活用できるかまどベンチや外水栓を遊歩道に造る。</li> <li>法面補強を兼ねブルーベリーの木を植樹する。沢ガニが生息している場所を ビオトープとして整備する。</li> <li>盛土の造成史(野島層等)をベンチに埋込み地形や歴史を学ぶ。</li> <li>“つづら折り遊歩道”は現状との調和や昆虫の生息を考慮し、法面の簡易補 強ができるものとする。 整備費用の概算額：約 500万円</li> </ul>
活用イメージ (提案する施設で どのようなことを 行いますか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが“つづら折り遊歩道”を散策し、ブルーベリーの林を抜け、動 物や昆虫、沢ガニに触れるなど、遊びを楽しめるようにする。併せて法面の 傾斜・振動センサーを確認し遊びの中から「安全」を学ぶ。</li> <li>未就学児童が集うびよびよキッズでは、自然と防災を身近に感じる遊びの中 から学びとお友達づくりで安心を知る。</li> <li>造成地の盛土・擁壁等インフラの歴史、IoT技術から災害リスクを知る。防 災・危険意識を肌感覚で気付きの大切さを学ぶ。(参照：その他資料)</li> <li>豪雨時や地震時地域住民に定量的なセンサー指標を提供し地域の住民が安心 して集い暮せるようにする。避難判断(遊歩道の利用判断)にも活用する。</li> <li>住民参加のワークショップを地質や地盤の有識者と協力して実施する。</li> <li>分散避難場所、地域交流の場として自治会館やかまどベンチを活用する。</li> </ul>
提案の背景(なぜ提案をするの か、地域のニーズ や課題、生かした い地域の魅力等に 触れて説明してく ださい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛土宅地造成から大凡60年が経過する。宅地擁壁は“経過観察を行い必要に 応じて対策を望む”との報告を受けた(地盤品質判定士会)。</li> <li>公的な地域防災拠点は高舟台小学校、5町内会で対象人員数7千人弱であ る。金沢区の防災計画(震災対策)では30年以内に震度6弱を想定、区内 14%の建物被害、当該地区では約400世帯相当の倒壊が予想される。命を繋 ぐ分散避難場所の確保が急務である。</li> <li>自治会館は土砂災害警戒区域に隣接しており、分散避難場所の活用は安全性 の担保が求められる。センサーを設置し定量的指標で安全度を判断する。 (参照：その他資料)</li> <li>子育てサロン、お食事会、サークル活動、祭りやイベント、小学生向け防災</li> </ul>

	<p>教育等が盛んで自治会館は地域住民の憩いの場でもある。また、横浜市や金沢区の委嘱委員の打合せ場所、地域活動や防災訓練拠点、協力団体の活動や会員間の会合場所、登下校の見守り（14名登録）拠点でも在る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高舟台の東側にある自治会館は、会館当番が常駐しだれでも来館することができる。また、トイレや水道も自由に使うこともできる。ウォーキングや犬の散歩中に休憩をしたり、子供達が学校の帰りに遊びに来たりと、地域の中でちょっとした利用がされている。一方で、高舟台の東側には公園がなく、あるのは小さなこどもの遊び場だけである。（参照：位置図）</li> <li>・私的な自主防災組織訓練の実績を踏まえ災害時にも自治会館を活用する方向に結び付けたい。</li> </ul>
<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当団地の14歳以下の割合は微増している。子ども達が自由に戯れ遊び集うブルーベリーの丘で安心を知ることによって防災を学びリスク管理の大切さを幼少期から育んで欲しい。</li> <li>・自治会館に集まる遊ぶ学ぶ身近な場所を引き続き維持する。多様性を理解し受容力を高め自治会活動に興味を示し、幼児期から身近な地域活動と繋がりを大切に考える地域社会を築いて行きたい。</li> <li>・親世代と子世代が同じ地域で暮らす（スープが冷めない）街づくり。子世代が独立し家庭をこの地域に求めたいと思える街、循環社会の構築。地域に自然に溶け込み相互扶助と声掛けでみんなが助け合える街を目指したい。</li> </ul>
<p><b>整備時の協働</b> （つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面センサーや振動モニタリングシステムの構築は、地盤コンサルタントの中央開発の協力を得る。法面や擁壁評価は地盤品質判定士会にアドバイスを求める。</li> <li>・つづら折り遊歩道は、近隣地域での崩壊事例を捉えた実績を活用、斜面診断～計器設置、管理基準値設定を踏まえ整備する。</li> <li>・遊歩道の一部整備は住民参加で行う。土木工事の部位整備は土質の野島層を熟知した地元造園業や土木業に声掛けを行い整備する。</li> <li>・高舟台は56年の歴史と1700世帯が暮らす街。近隣町会とも繋がりが深く子供達を始めお祭りやどんど焼きは世帯以上の参加交流がある。近隣町会との接点や地域資源を将来に亘って繋ぐ支える立場として、今ある地域資源を最大限活用し効率的に効果的に具現化に向け仲間を進めていきたい。</li> </ul>
<p><b>運営時の協働</b> （運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングは、常時10分間隔で実施、事前に設定した管理基準値を超えた場合は、自治会関係者らに警報メールを発信する。（参照：その他資料）</li> <li>・定期的に有識者と協力してワークショップを開催、斜面の状況と災害が発生した場合の避難の方法を確認する。併せて子供向けの防災教育を実施する。</li> <li>・日常の管理は自治会、モニタリング設備の維持管理は中央開発と連携する。</li> <li>・災害時のかまどベンチ等の活用は自主防災組織訓練で定期的に実施する。</li> <li>・法面や植栽管理は、従来通り住民参加型で行なう。</li> <li>・つづら折り遊歩道は会館施設の利用申込とするか自由利用とするかは、利用者へのアンケートで検討する。</li> </ul>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視システムはリアルタイムで行なうが常駐による監視は考えていない。リアルタイム監視は、携帯電話回線を利用して現地の計測機器から自動的に伝送（標準10分間隔）する。データはグラフ化しインターネットで配信する。警戒レベルを経過した履歴は常時監視することを可能とする。</li> </ul>

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- |         |                         |                       |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。     | ・地域に設計の専門家がいる。        |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。     | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。     |

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
高舟台自治会	提案することについては了承する。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ① 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ② 記載内容に個人情報含まれていません。

# 位置図

北



西

東

南

出展：区民マップ



# 現況写真



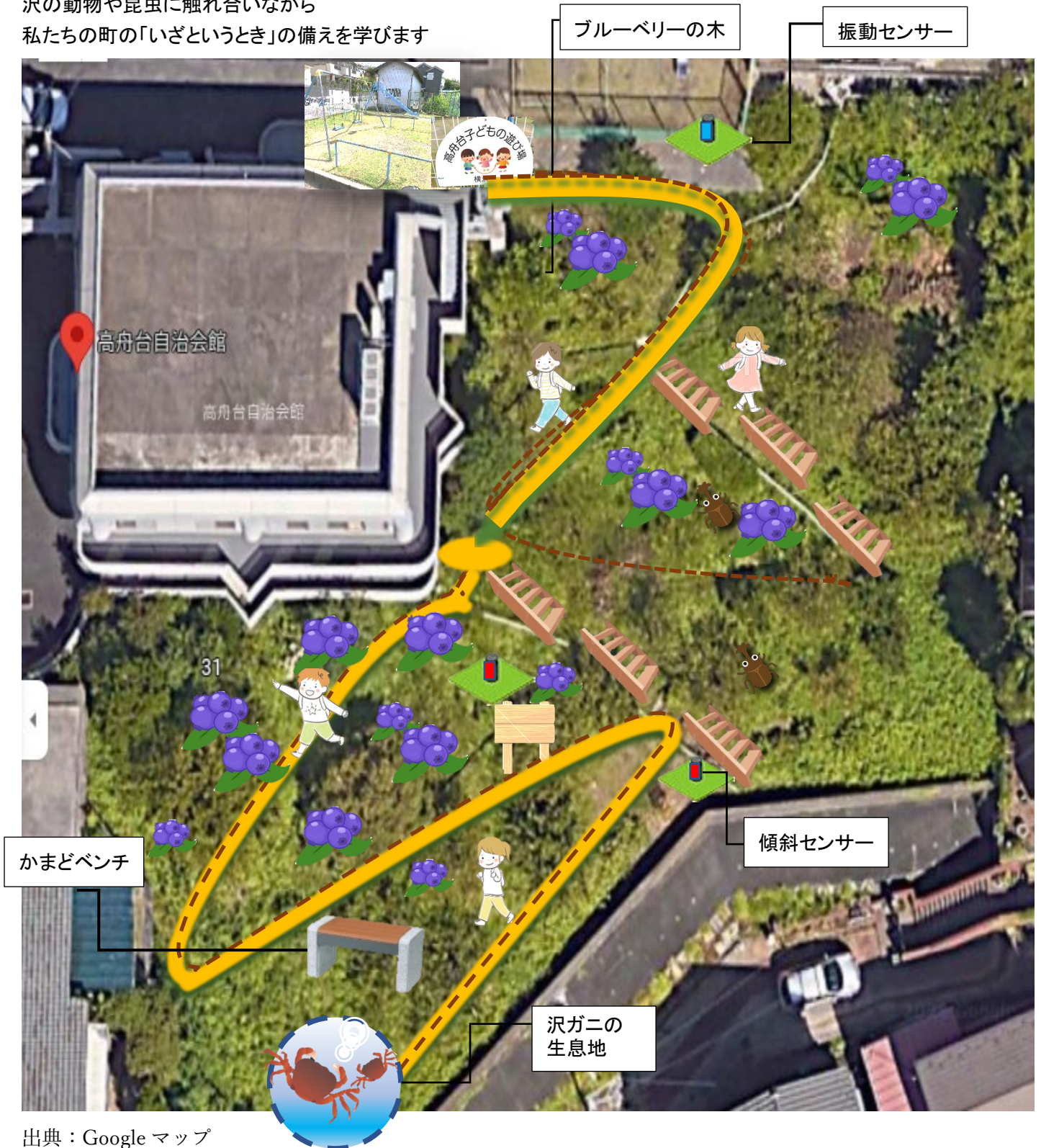


# 知ることで安心 子どもの遊び場と防災

季節の緑を眺めながら楽しくお散歩して  
近所の地形を知って、子供たちを見守っている  
防災システムに興味を持ってもらいます。  
ブルーベリーの林をくぐり  
沢の動物や昆虫に触れ合いながら  
私たちの町の「いざというとき」の備えを学びます

## 活用イメージ図

### ブルーベリーの丘





# その他資料

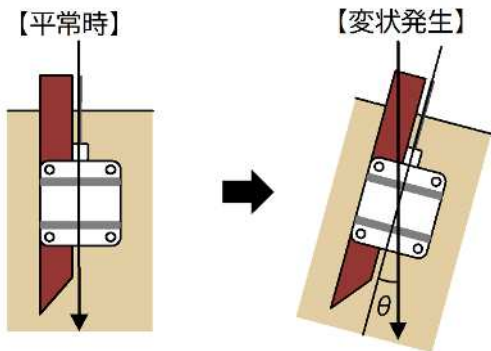
## 【傾斜センサー】

●計測目的: 斜面災害の予兆は目視では分からない「**極めて小さな動き**」のため計測機器を用いて**地盤の傾斜角度**を定量的にリアルタイムで測定する。



## 【傾斜センサーの測定原理】

●傾斜角度の**変化**を見る



## 【モニター表示のイメージ】

●パソコンと繋げてモニタリング状況をリアルタイムで表示



## 【避難の目安の例】



天気, キキクルの情報, 傾斜センサーをチェック

情報交換, 避難準備

避難開始



あらかじめ決めておいた避難のタイミング

警報メール配信